

NIIGATA アートリンク 2023

各館開催講座のご案内

※最新情報は各館HPやお電話にてご確認ください。

新潟県立、新潟市立の美術館4館の学芸員が講師を務める講座一覧です。
「美術に関する知識を深めたい」「作品や作家のことをよく知りたい!」
と思ったら、お気軽にご参加ください。

申込不要
聴講無料

新潟県立近代美術館

TEL 0258-28-4111

長岡市千秋3丁目278-14

<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟県立万代島美術館

TEL 025-290-6655

新潟市中央区万代島5-1

朱鷺メッセ内 万代島ビル5階

<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

新潟市美術館

TEL 025-223-1622

新潟市中央区西大畑町5191-9

<http://www.ncam.jp/>

新潟市新津美術館

TEL 0250-25-1300

新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1

<https://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

開催日時	講座名/講師	講座内容	会場、定員など
近代美 10月28日(土) 14:00~15:30	異国に渡った新潟ゆかりの画家たち 飯島 沙耶子 (新潟県立近代美術館 学芸員)	これまで数多くの日本人芸術家が画技を磨くために異国へと渡りました。落谷虹児や土田麦僊ら新潟ゆかりの画家たちを取り上げ、異国に渡った経験が画業にもたらした影響を探ります。	新潟県立近代美術館 1階講堂 定員165名
	12月2日(土) 14:00~15:30	ヒロインを「美人」に描く方法 菅沼 楓 (新潟市美術館 学芸員)	多くの人が憧れを抱いた各時代のヒロインたちは、どのように描かれてきたのでしょうか。たいてい見目よく、たまに恐ろしく…ビジュアル化された彼女たちから、表現された「美人」と、そこにみえる美意識を探ります。
新潟市美 1月6日(土) 14:00~15:30	描かれた大正モード 荒井 直美 (新潟市美術館 学芸員)	大正時代は日本が国際的にも列強に肩を並べ、社会の成熟を背景に多様な文化が花開きました。服飾面でも和洋折衷モードが 대중に広まります。明治から大正へ、画家たちのとらえたファッションに注目します。	新潟市美術館 2階講堂 定員80名
	1月20日(土) 14:00~15:30	モガとモ画 藤井 素彦 (新潟市美術館 学芸員)	1930年代以降の日本画には(1)モダンガールや都市風景を(2)洋画風の鮮やかな色彩やデコボコした絵肌で(3)ルソーやマティスのように描いたものが少なくありません。知られざる「モ画」(仮称)の歴史を探ります。
新津美 1月27日(土) 13:30~15:00	スペインの巡礼路で出会う大聖堂 石月 裕子 (新潟市新津美術館 学芸員)	ローマ、エルサレムと並びカトリック三大巡礼地のひとつに数えられるサンティアゴ・デ・コンポステーラ。その聖地へと続く道で目にする印象的な大聖堂を、実際に巡礼路を歩いた体験談を交えてご案内します。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム 定員50名
	近代美 1月27日(土) 14:00~15:30	企画展より 白髪一雄と同時代の作品を見る。 松矢 国憲 (新潟県立近代美術館 学芸課長)	「尼崎市コレクション：白髪一雄」に関連して、自身が企画した0会や、具体美術協会での出品作など、白髪一雄の作品を通覧するとともに、同時代の他作家による、熱き思いのたぎる抽象絵画の表現を鑑賞します。
新津美 2月24日(土) 13:30~15:00	描かれたアイヌ文化 奥村 真名美 (新潟市新津美術館 学芸員)	独自の言語を持ち、独特な文様による刺繍や木彫り等、豊かな工芸品も発展させたアイヌの人びと。本講座では、アイヌを描いた作品を通じ、多彩な動植物を生活にいかして自然と共生してきたその文化についてご紹介します。	新潟市新津美術館 1階レクチャールーム 定員50名
	新津美 3月2日(土) 13:30~15:00	シャガール作品にみる古代ギリシアの物語 —版画集『ダフニスとクロエ』を中心に 山岸 亜友美 (新潟市新津美術館 学芸員)	20世紀の画家マルク・シャガールは、2000点以上の版画を残しました。本講座では、42点のカラー・リトグラフからなる版画集『ダフニスとクロエ』を中心に、古代ギリシアの物語を主題とするシャガールの版画作品を見ていきます。